

2019年9~12月 真生会館ゆかりの読書会

遠藤周作を読む会

講師 金承哲 南山大学人文学部教授



課題図書

9/21(土) 女の一生 一部・キクの場合

12/14(土) 女の一生 二部・サチ子の場合

両日とも 13:30~15:30

受講料1回1,000円 学生は無料

詳しくは裏面をご覧ください。

お申込み・お問合せ

一般財団法人真生会館

〒160-0016 東京都新宿区信濃町33-4

Tel:(03)-3351-7121 Fax:(03)-3358-9700

E-mail: gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp

URL: <http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp>

申込書 遠藤周作を読む会

ご希望の日にちにチェックを入れて下さい。 9/21 12/14

お名前:

電話番号

ご住所: 〒

<講師のご紹介>

金承哲氏（キム・スンチョル）



韓国の高麗大学で物理学、メソジスト神学大学大学院でキリスト教神学（組織神学）を専攻。スイスのバーゼル大学神学部で、1989年に神学博士学位(Dr. theol.)を取得、その後韓国の釜山神学校で教鞭をとった。2001年来日。2011年まで金城学院大学教授を経て、2012年より南山大学人文学部教授、南山宗教文化研究所第一種研究所員(2016年より同研究所所長)。専門はキリスト教神学。宗教間対話、宗教と科学の対話、キリスト教文学を研究、各分野において著書、翻訳書、論文等多数。『遠藤周作一痕跡と痛みの文学』(2017、ビアトル)（韓国語）があり、遠藤周作の『沈黙の声』を韓国語に翻訳した。最新の著書『遠藤周作と探偵小説: 痕跡と追跡の文学』は当館一階の図書コーナーにありますので、どうぞご自由にご覧ください。

作品解説

☆女の一生 一部・キクの場合

キクは、ある日から清吉に恋をするようになる。彼がみなに厄介者とされる切支丹であることが判ってからも、その恋は変わるものではなかった。しかし、当時はまだ切支丹禁制が続く時代であった。遠藤は長崎を舞台にし、聖母マリアによって導かれた女性の人生を物語った。

☆女の一生 二部・サチ子の場合

戦争の狂風が吹き荒ぶ最中。長崎で宣教活動をしていたコルベ神父は、アウシュビッツの飢餓室で他の囚人の身代わりに最期を迎える。幼馴染の修平とサチ子は互いに恋に落ちるが、修平は戦死してしまう。サチ子が聖母に捧げる祈りは、神を探し続ける信仰者の祈りであろう。「神さま、あなたはたくさんのものを与えてくださいました。・・・苦痛と悲しみとは神さま、わたしにあなたの本当の御心を疑わせたこともありました。その疑いがかえってあなたを今でも求めさせます。」

この講座では多様なジャンルの作品を扱います。講師から作品についてのお話を伺い、受講者の皆さんと自由に意見交換を行いますので、どうぞお気軽にご参加下さい。書籍をお持ちの方は、ぜひご持参下さい。

